

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、3月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「IPv6技術の研究開発（産学連携と国際展開の軌跡）」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■最先端の技術的話題が、産業においてどのように適用されるのかについて具体的かつ平易な解説がなされており、興味を持って読むことができました。（水野光朗）

■IPv6技術の実現により、IPアドレスが無限に使えるように見えます。これにより、ネットワークの各要素に一意のアドレスの提供が可能になり、セキュリティ面でもアドバンテージが出るように思います。一方で、IPv4で43億「も」あったアドレスがいつの間にか43億「しか」なくなる現実を見ると、記事でも指摘があったようにIPv6の無限にも見えるIPアドレスでさえ自分の生きている間に枯渇する可能性があるのかもしれない。（匿名希望）

■本格化するユビキタス情報社会において必要不可欠なこの技術の開発に貢献された方々に敬意と感謝の念を抱きつつ、それを我々の日常生活に活かすための研究開発が一層活発化することを期待します。また、どの技術にも忘れてはならない人がいることに今一度、想いを馳せたいと思います。（匿名希望）

■IPv6の話題がいつからかあまり聞かれなくなったような気がしていましたが、着実に進歩していたことが分かりました。NGNの基盤移行により、再び脚光を浴びようとしているようにも思いましたが、これらはIPv6を開発されている皆さんの着実な技術の積み重ねであると理解できました。（匿名希望）

■IPv6の特集は非常によかった。特集採択の経緯は存じかねるが、このような特集の中に萩野純一郎博士の原稿がなく、追悼文が掲載されるのは心が重い。心からご冥福をお祈りいたします。IPv4のアドレス枯渇などを受けて登場したIPv6の普及が思ったように進まない。年月が解決するのだろうか？それとも電波における国家強制的デジタル化と同様、権力を使ったえいやっという切り替えが必要なのだろうか？そうでもしないと切り替えられないとも思う。しかしこの分野の人間はそのこと（権力による強制）を最も忌み嫌う。（匿名希望）

■「アプリケーションIP化の進展とIPv6」：IPv6の広いアドレス空間により、多くの情報が共有され、集積活用できるとのこと。プライバシーが保証される活用方法を期待したいです。（匿名希望）

■IPv6特集は、各社がIPv6対応をしているところで、IPv6に対応しなければいけないNetworkがありTimelyといえます。（匿名希望）

解説「天才ハッカー萩野純一郎博士を悼む — IPv6時代は彼によって開かれた—」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■次の3つの点できわめて強い違和感を感じました。まず第一に、本稿は『解説』ではなく『追悼』として分類される内容です。学会の会誌である以上、慣例どおり『追悼』として取り上げるべきであったと思います。第二に、本稿は萩野純一郎博士の業績を全面的に肯定するのみにとどまっており、学術雑誌にふさわしくありません。学術雑誌である以上、業績をあらゆる観点から客観的に再検討する必要があると考えます。科学技術は、それがいかに優れたものであれ、完全無欠であることはなく、必ず何らかの負の側面があります。学位論文の審査報告でも、必ず最低1点は、問題点の指摘がなされるのであるから、本稿にあっても、負の側面とはいわなくても問題点の指摘がなされる必要があったと考えます。第三は、タイトルの『天才』という表現です。およそ学術雑誌では通例用いられることがない表現であると思います。（水野光朗）

■"itotjun"さんはお若い方でしたが、いとじゅん先生と呼ぶにふさわしい技術力と発信力を持ち、そのお人柄でファンも多かったのではないかと思います。お会いできたことはありませんが、私もそのファンの1人です。素晴らしい技術リーダーを失った寂しさは何にも例えようがありません。先生のご意志に少しでも近づけるように精進しながら、ご冥福をお祈りするばかりです。（匿名希望）

■萩野純一郎氏の追悼記事を読んで、大変感銘を受けました。37歳の若さで、世界を舞台にこれだけの活躍ができるんだ、と勇気づけられるとともに、自分ももっと頑張らなければ、という気持ちになりました。ご冥福をお祈りいたします。（内山 彰）

■恥ずかしながら、IPv6に対する彼の貢献をこの記事で初めて知りました。彼の意志を引き継ぐ研究者の方々の今後に期待します。（匿名希望）

小特集「複雑ネットワーク科学の拡がり」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■複雑ネットワーク科学についての記事は、担当している講

義の内容を充実させる上で、非常に役に立ちました。
(金子美博)

■「故障と攻撃の両方に強いつながり方とは？」を大変興味深く拝読させていただきました。スケールフリーネットワークは故障への頑強性の反面、攻撃への脆弱性を有する。そして、故障と攻撃の双方への頑強性には二極次数分布が最適とこのことです。意外な感じもしますが、落ち着いて考えてみるとなるほどなぁと納得もできます。連結性を保つためには少数のハブが必要とはなかなか含蓄のある表現だと思いました。
(桶屋勝幸)

■「これから学ぶ方々への書籍紹介」：学部学生向けの文献リストの作成に役立てることができました。
(水野光朗)

■「これから学ぶ方々への書籍紹介」は、この記事を読んで興味を持った門外漢にはとても役に立ちそうで良かった。ここまでの書籍紹介をした(小)特集の記事はこれまであまりなかったような気がする。今後、他の特集などでもこのような参考図書や論文などの紹介記事があるとよいのではないかと考えた。
(匿名希望)

■会誌紙面だけではなかなか深くは語れないと思うので、書籍の紹介は良いことだと思います。企業組織ネットワークの解析に興味深く思いました。なかなか難しく理解するのが大変ですが(というか、まだよく理解できてません)。
(匿名希望)

■数理社会学会員でもありますが、最近、ネットワーク関連の発表が増えており、特に、今春の学会では発表が多く、気になっていました。本小特集が組まれたのはタイミングがよく、またネットワーク「生態学」なる名称の理由も分かって興味がわきましたので、紹介された文献を一部購入しました。少し勉強してみたいと思っています。
(匿名希望)

■複雑ネットワークがカバーする範囲の広さに驚きと、まさに学際的な分野であることに興味を持ちました。
(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■ IETF における最新動向をお願いします。
(匿名希望)

■ グリーンITに関する特集、日本の独自分野特集。
(匿名希望)

■ いろいろ調べてみると、雑誌「大相撲」の発行部数は18,166部、小説すばる23,000部、新潮12,058部、Newton別冊50,000部、ネットワークマガジン20,283部、ユニックスマガジン15,425部。一方、学会誌「情報処理」の場合、定価1,680円で、会員数から勝手に想像した発行部数約22,000部。紙質を落とす、風景写真を減らす…もっと安価にできないでしょうか。
(匿名希望)

【本欄担当 柳本豪一、飛田高雄／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4906.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2008年				
	論文誌「ユビキタスコンピューティングシステム (II)」特集 への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-E.html	7月1日 (火)		
6月19日 (木) ~ 6月20日 (金)	第145回データベースシステム・ 第91回情報学基礎合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DBS145FI91.html	4月16日 (水)	当日のみ	小樽市民会館
6月19日 (木) ~ 6月20日 (金)	第160回ソフトウェア工学・第9回組込みシステム合同 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SE160EMB9.html	4月18日 (金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
6月19日 (木) ~ 6月20日 (金)	第135回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DPS135.html	4月28日 (月)	当日のみ	会津大学
6月20日 (金)	第33回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ITS33.html	5月7日 (水)	当日のみ	早稲田大学 西早稲田キャンパス
6月21日 (土) ~ 6月22日 (日)	Visual Computing / グラフィクスとCAD 合同シンポ ジウム2008 http://www.pluto.ai.kyutech.ac.jp/vc2008/	3月10日 (月)		国士舘大学 理工学部 (梅ヶ丘キャンパス)
6月23日 (月)	連続セミナー 2008「インターネットの進化」 第1回「インターネットの発展とWIDEプロジェクトの役割」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
6月26日 (木) ~ 6月27日 (金)	第13回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/BIO13.html	4月11日 (金)	当日のみ	琉球大学50周年記念館
6月27日 (金)	第25回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EVA25.html	5月7日 (水)	当日のみ	東海大学高輪校舎
6月27日 (金)	第20回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/GI20.html	5月12日 (月)	当日のみ	北陸先端科学技術大学院 院大学
7月2日 (水) ~ 7月3日 (木)	第152回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ICS152.html	5月20日 (火)	当日のみ	国立情報学研究所
7月4日 (金) ~ 7月5日 (土)	第10回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EC10.html	5月7日 (水)	当日のみ	美国観光ハウス (北海道)
7月7日 (月)	第131回グラフィクスとCAD 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG131.html	5月9日 (金)	当日のみ	東京大学大学院総合文化 研究科教養学部学際 交流ホール
7月9日 (水) ~ 7月11日 (金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2008) シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DICOMO2008.html	3月10日 (月)	6月9日 (月)	北海道 定山溪ビューホ テル
7月12日 (土)	第95回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CE95.html	5月23日 (金)	当日のみ	北海道大学
7月17日 (木) ~ 7月18日 (金)	第19回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/UBI19.html	5月16日 (金)	当日のみ	東京電機大学 神田キャンパス
7月17日 (木) ~ 7月18日 (金)	第186回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/NL186.html	5月27日 (火)	当日のみ	はこだて未来大学
7月23日 (水)	連続セミナー 2008「インターネットの進化」 第2回「IPv6のある世界」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
7月23日 (水) ~ 7月24日 (木)	第61回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/AVM61.html	5月13日 (火)	当日のみ	芝浦工業大学 豊洲キャンパス
7月24日 (木) ~ 7月25日 (金)	第42回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CSEC42.html	5月16日 (月)	当日のみ	福岡システムLSI 総合開発センター
7月24日 (木) ~ 7月25日 (金)	第67回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DD67.html	5月20日 (火)	当日のみ	北海道大学 学術交流会館
7月25日 (金)	第2回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IOT2.html	5月26日 (月)	当日のみ	秋田県田沢湖芸術村
7月28日 (月) ~ 8月1日 (金)	SAINT2008 International Symposium on Applications and the Internet http://www.saintconference.org/			フィンランド
8月5日 (火) ~ 8月7日 (木)	2008年並列/分散/協調処理に関する『佐賀』 サマー・ワークショップ (SWoPP 佐賀2008) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SWoPP2008.html	4月22日 (火)	当日のみ	アバンセ
8月6日 (水) ~ 8月8日 (金)	第76回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MUS76.html	6月6日 (金)	当日のみ	名古屋大学野依記念館
8月21日 (木) ~ 8月22日 (金)	平成20年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月13日 (金)		日本大学工学部キャン パス (福島県郡山市)
8月22日 (金) ~ 8月23日 (土)	第132回グラフィクスとCAD 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG132.html	6月18日 (水)		小樽朝里クラッセ ホテル
8月26日 (火) ~ 8月27日 (水)	DA シンポジウム2008 - システムLSI設計技術とDA - http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-DA2008.html	5月14日 (水)		遠鉄ホテルエンパイア (静岡県)
8月30日 (土) ~ 8月31日 (日)	4th International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech2008) http://www.collabtech.org/			和歌山県 (アパローン紀の国)
9月1日 (月) ~ 9月3日 (水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2008 (SES2008) http://ses2008.naist.jp/			東洋大学 白山キャンパス (予定)
9月2日 (火) ~ 9月4日 (木)	FIT2008 第7回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2008/index.html			慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月5日(金)～ 9月6日(土)	第164回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CVIM164.html	6月15日(日)	当日のみ	慶應義塾大学
9月18日(木)～ 9月19日(金)	平成20年度電気関係学会東海支部連合大会 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/rengo/	7月16日(水)		愛知県立大学(愛知県 愛知郡長久手町)
9月18日(木)～ 9月19日(金)	第14回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/BIO14.html	7月16日(水)	当日のみ	北海道大学 百年記念会館
9月19日(金)	情報処理北海道シンポジウム2008 Info-Hokkaido 2008 http://hokkaido.ipsj.or.jp/pukiwiki/	8月1日(金)		稚内北星学園大学(北 海道稚内市)
9月19日(金)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第3回「Mobile & Wireless」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
9月24日(水)～ 9月25日(木)	平成20年度電気関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月22日(火)		大分大学工学部旦野原 キャンパス(大分県大 分市)
10月15日(水)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第4回「実世界インターネット」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
10月29日(水)～ 10月31日(金)	組込みシステムシンポジウム(ESS2008) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-ESS2008.html	6月19日(木)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
11月7日(金)～ 11月8日(土)	第133回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG133.html			九州工業大学 情報工学部
11月7日(金)～ 11月9日(日)	第13回ゲームプログラミングワークショップ2008(GPW2008) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-GPW2008.html		定員になり次第	箱根セミナーハウス
11月12日(水)～ 11月13日(木)	コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2008) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ComSys2008.html	7月16日(水)		キャンパス・イノベー ションセンター東京
11月25日(火)～ 11月27日(木)	IWSEC2008 International Workshop on Security http://www.iwsec.org/			かがわ国際会議場
11月27日(木)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第5回「インターネットオペレーション」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/			
12月9日(火)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第6回「インターネットとコンテンツ流通」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
2009年				
2月16日(月)～ 2月17日(火)	第134回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG134.html			NHK放送技術研究所
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/	2月28日(土)		
3月10日(火)～ 3月12日(木)	第71回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/71kai/			立命館大学びわこ・く さつキャンパス
3月23日(月)～ 3月25日(水)	The 9th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2009) http://www.ece.upatras.gr/isads2009/			Athens, Greece

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 5月20日 コンピュータ博物館を更新しました
- 5月15日 人材募集情報(5月)更新しました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国立研究機関 21,000円(税込)

賛助会員(企業) 31,500円(〃)

賛助会員以外の企業 52,500円(〃)

*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■筑波大学社会・国際学群国際総合学類

- 募集人員** 「アジアにおける協調的国際先端学術連携融合に関わる基盤形成事業」研究員(任期付き契約職員) 2名
- 専門分野** 教育学、インストラクショナルデザイン、教育コンテンツ開発/Webコンテンツ開発、Webプログラミング、各種サーバ管理、緊急時の対応など
- 応募資格** 博士の学位は特に必要としないが、教育学、教育設計、コンテンツ開発、Webプログラミングなどに興味をもってあたる方。国際的な視点に立ち本プロジェクトの理念を理解できる方。本プロジェクトに参加するアジアの各大学、本学のスタッフと共同で、プロジェクトを推進できる方。日本語、および、英語でコミュニケーション能力を有する方
- 着任時期** 平成20年8月1日からできるだけ早い時期
- 提出書類** 履歴書(1通、様式任意)、今までの研究等の業績を示す資料(1部)
- 応募締切** 平成20年6月30日(必着)(ただし、応募がある場合は事前に締め切ることもある)
- 送付先/照会先** 〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学社会・国際学群 国際総合学類長 福井幸男
「応募書類在中」と朱書 E-mail:fukui@cs.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-6010
- その他** 詳細はWebページ(<http://www.kokusai.tsukuba.ac.jp/jpn/index.html>)

■国立大学法人電気通信大学大学院情報システム学研究科情報メディアシステム学専攻

- 募集人員** 准教授 1名
- 所属** 対話型システム学講座
- 専門分野** 実世界指向の対話型システムとその基盤技術。例として、Pervasive UI、Tangible UI、仮想現実感/拡張現実感、モバイル/ウェアラブルシステム、対話型アート/エンタテインメント、コンピュータグラフィクス、コンピュータビジョン、音声認識、音楽情報処理等
- 応募資格** 博士の学位を有すること
- 着任時期** 平成20年10月1日(予定)
- 提出書類** 履歴書(学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含むこと)、研究業績リスト(著書、学術論文誌論文、国際学会論文、研究会報告などに分類)、ご自身で最も誇れると考える研究論文の概要、専門分野に関連する主要な著書・学術論文別刷(コピー可)、研究概要および研究計画書(2000字程度、上記の専門分野との関連を明示のこと)、研究・教育に関する理念・抱負など(1000字程度)、参考となる意見を伺える2名の方の氏名と連絡先
- 応募締切** 平成20年6月30日(必着)
- 送付先** 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 国立大学法人電気通信大学大学院情報システム学研究科 事務室 「対話型システム学講座准教授応募書類在中」と朱書し書留 *応募書類は原則として返却いたしません。ただし、著書については、あらかじめお申し出いただいた場合は返却します
- 照会先** 対話型システム学講座 教授 小池英樹 E-mail:koike@is.uec.ac.jp Tel(042)443-5651
大学院情報システム学研究科 事務室 E-mail:isoffice@is.uec.ac.jp Tel(042)443-5679 Fax(042)443-5681
- その他** 【選考方法】書類による審査の後、プレゼンテーションをお願いすることがあります

■日本大学理工学部数学科

募集人員 教授あるいは准教授 1名
 専門分野 情報科学、学部数学科および大学院情報科学専攻(兼任)の情報系科目を担当。それらの現行シラバスはWebページ (<http://www.syllabus.kyomu.cst.nihon-u.ac.jp/>)を参照のこと：たとえば、
 ・『理工学部』(平成19年度以前入学者用)の「ソフトウェア概論及び演習」
 ・『大学院理工学研究科』の「言語理論」

応募資格 年齢40～60歳
 着任時期 平成21年4月1日(厳守)
 提出書類 履歴書(E-mailアドレス、電話番号必須)、研究業績リスト(問合せ先3名以内を付記)、研究・教育計画書(A4用紙1枚以内)
 *推薦書は必要ありません

応募締切 平成20年7月22日(必着)
 送付先/照会先 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8 日本大学理工学部数学科・数学専攻 主任 本橋洋一
 E-mail:ymoto@math.cst.nihon-u.ac.jp 「応募書類在中」と朱書し簡易書留
 *応募書類は返却せず事後処分させていただきます

■国立大学法人電気通信大学

募集人員 テニユアトラックポストの特任助教 1名
 専門分野 ユビキタステクノロジー(ワイヤレス応用、セキュリティ、ヒューマンインタフェース、バーチャルリアリティ、アンビエントインテリジェンス、Webインテリジェンス)

応募資格 採用時に博士の学位を有し、募集分野において優秀な研究を推進されている方
 着任時期 平成20年10月1日以降、できるだけ早い時期
 応募締切 平成20年7月25日(17:00必着(日本時間))
 照会先 人間コミュニケーション学科 吉浦 裕 E-mail:yoshiura@hc.uec.ac.jp Tel(042)443-5517
 その他 提出書類、送付先を含む詳細は下記Webページをご覧ください
 (和文) http://www.ghrdp.uec.ac.jp/bosyu/bosyuJ4_top.html, (英文) http://www.ghrdp.uec.ac.jp/bosyu/bosyuE4_top.html
 【任期】上記着任時期から平成25年3月31日まで
 【給与】年間570万円程度から(本人の年齢・経歴等をもとに本学の関係規定により決定)
 【学外活動】大学が必要と判断した場合は、2年目(平成21年度)において、長期(10カ月以下)の学外(海外を含む)活動の機会を付与
 【研究費】年間500万円程度を配分(文部科学省予算などの状況により変わる場合があります)

■愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻情報工学コース

募集人員 准教授または講師 1名
 専門分野 画像情報処理、知識情報処理、ニューラルネットワーク
 担当科目 上記専門分野に関連する学部・大学院の講義および学生実験、共通教育科目など
 応募資格 教育と研究に熱意と能力があり、博士あるいはPh.D.の学位を有する方。准教授の場合は博士後期課程担当研究指導補助教員資格(D合)以上、講師の場合は博士前期課程担当研究指導補助教員資格(M合)以上の教育・研究実績を有する方(採用選考時に資格審査を行う)

着任時期 遅くとも平成21年4月1日
 提出書類 履歴書、業績リスト、主要論文別刷(3編以内)、これまでの研究概要と今後の研究計画・抱負(1500字程度)、これまでの教育経験と教育面での抱負(1000字程度)、希望職種(所定の用紙)、応募者について所見を求め得る方3名の氏名・役職・連絡先、そのうち1名の推薦書 *提出書類の書式に関する参考資料を下記メールアドレス宛にご請求ください

応募締切 平成20年7月31日(必着)
 送付先/照会先 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻 情報工学コース長 伊藤 宏
 E-mail:ito@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9961 Fax(089)927-9973
 「教員(准教授または講師)応募書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却いたしません

その他 書類審査の後、面接を行います。なお、面接の際の旅費などの支給はありません
 研究業績等によって、准教授または講師で採用します。応募に際しては、所定の用紙にて、職種の希望を表明してください
 Webページ (<http://www.ehime-u.ac.jp/ippan/kobo/index.html>)に掲載されている公募案内もご確認ください

■金沢大学総合メディア基盤センター情報教育部門

募集人員 教授 1名
 専門分野 総合領域／科学教育・教育工学、情報学
 応募資格 博士の学位を有する方、ICT教育用コンテンツの企画・設計・制作、ICT教育の実践の経験を有する方、外部資金獲得によるICT教育の全学的な普及・推進・組織化に参画した経験を有する方、ICT教育関連分野において活発な研究活動を行うとともに社会貢献活動をしている方
 着任時期 平成21年4月1日
 提出書類 履歴書、システム開発・業務などの経験、業績リスト、教育研究特にICT教育推進の所見、推薦書2通もしくは本人に関する所見を伺える方(2名)の連絡先 (Webページ参照)
 応募締切 平成20年7月31日(必着)
 送付先 〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学総合メディア基盤センター 車古正樹 (Webページ参照)
 照会先 総合メディア基盤センター E-mail:koubo@imc.kanazawa-u.ac.jp Tel(076)234-6911 (Webページ参照)
 その他 公募の詳細および所定様式は、Webページ (<http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/announce/recruit>)をご覧ください

■東京大学グローバルCOE「セキュアライフ・エレクトロニクス」

募集人員 博士研究員または特任助教 最大3名まで
 専門分野 センシング、情報処理・ネットワーク、アクチュエーション、機能デバイス・マテリアル(下記Webページ参照)
 応募資格 博士学位取得済み、または見込みの方
 着任時期 できる限り早い時期、博士号取得見込みの方は取得後
 提出書類 履歴書、これまでの研究業績の概要(A4用紙1枚程度)、発表論文リスト(①査読付きオリジナル論文、②解説論文、③国際会議発表、④国内学会・研究会等発表、⑤特許、⑥受賞、⑦その他、に分けてください)なお、代表的論文(3件まで)を添付のこと、着任後の研究計画と抱負(A4用紙1枚程度)、照会可能な方(1~2名)の氏名・所属・連絡先
 応募締切 平成20年7月31日(適任者が見つかり次第、締切前でも採用を決定することがあります)
 送付先/照会先 〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学工学部2号館121A4号室 東京大学電気系COE支援オフィス
 E-mail:coe21@ee.t.u-tokyo.ac.jp Tel(03)5841-6793 Fax(03)5841-1160 簡易書留
 その他 【任期】2年(原則として再任はなし)
 詳細はWebページ (<http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/gcoe/>)の人材募集を参照してください

■大分工業高等専門学校制御情報工学科

募集人員 准教授 1名(年齢や職歴・教育実績等によって、講師または助教となる可能性があります)
 専門分野 情報工学
 担当科目 情報系基礎科目、コンパイラ、プログラム言語論、工学実験など
 応募資格 次の(1)~(3)のいずれにも該当する方
 (1)高専の教育と学生指導に理解と熱意のある方
 (2)博士の学位を有する方(着任時までに取得見込の方を含む)
 (3)担当科目に関する研究実績を有する方
 着任時期 平成21年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書(市販履歴書に本人自筆)、研究業績リスト(A4用紙、様式自由、著書、論文、口頭発表、その他など種類別に分類して記載する)、主要研究論文別刷(コピー可)、高専着任後の抱負(教育および研究に対して抱負や提案等をA4用紙に1500字程度でそれぞれ1通、記述する)、推薦書または応募者について意見を伺える方の氏名・連絡先(勤務先、住所、電話番号、E-mailアドレス等)
 応募締切 平成21年8月12日(必着:ただし、適当な方がおられない場合には応募締切を延長する場合があります)
 送付先 〒870-0152 大分県大分市大字牧1666 大分工業高等専門学校総務課人事係 Tel(097)552-6079 Fax(097)552-6106
 「制御情報工学科教員応募書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は原則として返却しません。また、応募書類記載の個人情報は、本選考以外の目的で使用することはありません
 照会先 制御情報工学科長 教授 岡茂八郎 E-mail:oka@oita-ct.ac.jp Tel(097)552-7464
 その他 【選考方法】1次選考:書類審査、2次選考:面接(一次選考合格者に対して内容・実施日時等をお知らせします。なお、面接に伴う旅費、宿泊費等は応募者の負担とします)

■関西大学環境都市工学部都市システム工学科シミュレーション分野

募集人員	教授または准教授 1名
専門分野	シミュレーション分野(数値解析, モデリング, 計算アーキテクチャなど)
担当科目	大学院(ソーシャルデザイン専攻都市システム工学分野)における関連専門分野科目および学部の関連科目および学科共通科目
応募資格	博士(またはPh.D.)の学位を持つ方。学部および大学院での学生教育および研究指導のできる方。上記の専門分野に関する優れた見識と十分な研究業績を有し, 研究・教育に熱心な方。大学の管理・運営に対して十分な能力と熱意のある方
着任時期	平成21年4月1日(予定)
提出書類	履歴書(大学内/企業内, 学会, 社会等における教育・研究に関する活動歴・業績等も記載すること), 研究業績リスト, 研究業績の概要(研究業績リストとの関連を明記しながら, 研究経過をA4用紙2枚程度に要約), 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 採用された場合の今後の研究計画および教育活動に関する展望と抱負, 応募者について参考意見を伺える方2名の氏名および連絡先
応募締切	平成20年8月20日(必着)
送付先/照会先	〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学環境都市工学部都市システム工学科 学科長 坂野昌弘 E-mail:peg03032@ipcku.kansai-u.ac.jp Tel(06)6368-0901 Fax(06)6330-3770 「シミュレーション分野教員公募応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は返却しません
その他	都市システム工学科Webページ(http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_env/toshi/challenge.html#a08) (http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_env/toshi/index.html) (http://www.urbansystem.kansai-u.ac.jp/)を参照ください 【選考方法】書類選考の上, 面接を実施することがあります

■小樽商科大学商学部社会情報学科

募集人員	准教授 1名
担当科目	プロジェクトマネジメント, システム戦略に関する科目
応募資格	主導的立場で各種の事業やプロジェクト(IT関連, 経営改革など)の推進にかかわる経歴や実績を持ち, 大学院博士課程修了と同等以上の研究業績を持つ方
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	履歴書, 教育研究業績リスト, プロジェクト実績リスト(本学所定様式), 主要論文等別刷(5編以内), 今後の教育研究計画と抱負など
応募締切	平成20年8月22日(必着)
送付先/照会先	〒047-8501 北海道小樽市緑3-5-21 小樽商科大学長 「プロジェクトマネジメント等担当教員応募書類」と朱書き書留 総務課人事係 E-mail:jinjji@office.otaru-uc.ac.jp Tel(0134)27-5208 Fax(0134)27-5213
その他	詳細はWebページ(http://www.otaru-uc.ac.jp/hsyomul/koubo/koubo.html)をご覧ください

■青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科

募集人員	教授または准教授 1名
所属	理工学部情報テクノロジー学科(相模原キャンパス内)
専門分野	情報科学・工学分野
担当科目	当学科科目を構成する3領域(ソフトウェア, メカトロニクス, ヒューマンファクタ)のうち, ソフトウェア領域(例:情報理論, データマイニング, データベース, 発見科学, パターン認識, 情報数学, 組合せ最適化など)の講義科目およびプログラミングを中心とする実験実習科目から半期に3科目程度です
着任時期	平成21年4月1日
応募資格	博士の学位を有し, 大学院・学部の学生に対する教育・研究指導に十分な能力と熱意のある方。専門分野について優れた業績を有すること。キリスト教について十分な理解があること
応募書類	履歴書(市販用紙使用, 連絡先にE-mailアドレスを含めること), 研究業績リスト(著書, 学会誌掲載の査読のある研究論文, 学会誌掲載の解説論文, 国際会議論文, 口頭発表に伴う学会論文集掲載論文などに分類のこと, また外部資金獲得状況も含むこと), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), これまでの研究の概要(A4用紙2枚程度), 今後の研究計画(A4用紙2枚程度), 教育に対する抱負(A4用紙2枚程度), 本人に関する所見を伺える方2名の氏名および連絡先
応募締切	平成20年8月29日(必着)
送付先/照会先	〒229-8558 神奈川県相模原市淵野辺5-10-1 青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科 主任 原田 実 「情報テクノロジー学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 E-mail:harada@it.aoyama.ac.jp Tel(042)759-6321 Fax(042)759-6495 *応募書類は返却いたしません
その他	書類選考の結果により面接(9月13日, 14日, 15日などを予定)を実施します。面接へ進まれる方への連絡はメールで行います。公募されるポストは常勤・非任期で教授の場合定年は68歳です。研究室には助教または助手が所属します。研究室の広さは約168m ² です

■千葉大学大学院融合科学研究科情報科学専攻

- 募集人員 助教 1名
 専門分野 情報通信ネットワーク(ワイヤレス通信, ユビキタス通信など), 分散コンピューティング
 担当科目 情報処理, 情報画像実験(工学部情報画像学科)など
 応募資格 博士号取得者または着任までに取得見込みの方で, 上記分野の教育研究に熱意のある方
 着任時期 決定後, できるだけ早い時期(予定)
 提出書類 履歴書, 著書・学術論文(レフェリー付きの原著論文, 総説に区分)およびその他(レフェリーなしの原著論文, 国際学会発表など)のリスト(このリストには, 論文名, 全著者名, 雑誌名, 巻, 最初と最後のページ, 発表年(西暦)について記入されていること), 主要論文別刷(コピー可), これまでの教育研究概要と採用された場合の教育および研究の抱負について全体で2000字程度にまとめたもの, 推薦者お1人からの署名入り推薦書または応募者について意見を聞くことができる方1名以上の氏名と連絡先
 応募締切 平成20年8月29日(必着)
 送付先/照会先 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学大学院融合科学研究科 阪田史郎 E-mail:sakata@faculty.chiba-u.jp
 Tel/Fax(043)290-3299 *応募書類は原則返却いたしません
 その他 【選定方法】応募書類と面接による

■愛知工科大学工学部情報メディア学科

- 募集人員 教授または准教授 2名(常勤)
 専門分野 (a) コンピュータ関連・応用ソフト分野 1名(プログラム言語, コンピュータネットワーク, デジタル信号処理などに関連する講義ならびに実験・研究指導)
 (b) CG・映像・Web制作等のコンテンツ分野 1名(CG制作, Webデザイン, カラーデザインなどに関連する講義ならびに制作実習・研究指導)
 なお, (a), (b)とも基礎科目の講義もお願いする場合があります
 応募資格 (a)は学位(博士)取得者, (b)は学位(博士)取得者が望ましいが, 実務経験豊富な方も考慮する. 学部および大学院の教育・研究指導が行える方. 私立大学の教育研究に理解があり, 学業以外の学生指導にも熱意のある方
 着任時期 平成21年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書(書式任意), 教育研究・実務業績リスト(書式任意:著書, 学術論文, 国際会議論文, その他に分類し, 単著・共著の別を明記すること), 主な業績(著書・論文等5編以内)の現物またはコピー, およびそれぞれの要旨400字以内, 本学採用後の教育研究に関する計画および抱負(2000字程度以内)
 応募締切 平成20年8月31日(必着)
 送付先/照会先 〒443-0047 愛知県蒲郡市西迫町馬乗50-2 愛知工科大学工学部情報メディア学科 学科長 小塚一宏
 「情報メディア学科公募書類在中」と朱書 E-mail:kozuka@aut.ac.jp Tel(0533)68-1135 Fax(0533)68-0352
 *提出書類は返却しません
 その他 書類選考の上, 選考された候補者には面接を実施します
 提出書類に含まれる個人情報, 選考および採用以外の目的には使用しません

■神奈川大学工学部情報システム創成学科

- 募集人員 特別助手(任期制) 1名
 *本学の特別助手として3年以上の経歴と相当の業績を有し, かつ, 相応の教育上の能力を有すると認められるときは, 特別助教への任用が可能となります
 専門分野 OR関連分野(数理計画, 待ち行列, 金融工学等)
 職務内容 専攻分野の研究および研究・教育の補助
 応募資格 大学院博士後期課程修了者(見込みも含む)または同等以上の研究業績を有する方
 着任時期 平成21年4月1日
 提出書類 履歴書1部^{*}, 教育研究業績書1部^{*}, 主要な著書および論文抜刷(コピー可), 主要業績3点についてそれぞれ1000字程度の要約をつけること
 *提出書類リストを添付してください
 *外国籍の方は「外国人登録証明書の写し」を添付してください
 *選考の過程で健康診断書の提出を求められることがあります
 ※履歴書および教育研究業績書はWebページ(<http://www.kanagawa-u.ac.jp/05/kyoindataprofile/koubo.html>)を参照のこと
 応募締切 平成20年9月30日(必着)
 送付先 〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学学長室気付 工学部長 佐藤祐一
 Tel(045)481-5661(代)「工学部情報システム創成学科・特別助手(OR関連分野)」教員応募書類と朱書き書留
 照会先 情報システム創成学科 主任 進藤 晋 E-mail:shindoh@cc.kanagawa-u.ac.jp Tel(045)481-5661(ext.3731) Fax(045)413-6565
 その他 【任期】5年
 特別助教に任用された場合は, 特別助手として在職した期間と通算して5年の任期とします
 特別助手(特別助教)は所定の手続きを経て, 1回に限り任期を5年間更新できる可能性があります
 待遇, 任期の更新等の詳細については人事室へ問い合わせてください

FIT2008 第7回情報科学技術フォーラム 聴講参加事前予約並びに講演論文集販売の御案内

FIT2008 ホームページ: <http://www.ipsj.or.jp/10jigyofit/fit2008/>

電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋季にFIT(Forum on Information Technology)を開催しており、2008年9月には第7回目を慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスで開催致します。

つきましては、聴講参加事前予約並びに講演論文集、CD-ROM販売の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、CD-ROMは、FIT開催中にも会場販売を行います。残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会 期: 2008年9月2日(火)～4日(木)
会 場: 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(神奈川県藤沢市遠藤5322)
交 通: 小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄:
湘南台駅下車 バス15分
東海道線: 辻堂駅下車 バス25分
※お車での御来場は御遠慮下さい。
アクセス<http://www.sfc.keio.ac.jp/visitors/directions/index.html>

■開催イベント企画 [予定]

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント予定されております。(詳細は逐次FIT2008ホームページに掲載致します)

- ・船井業績賞特別講演
- ・FIT2008論文賞セッション
- ・FIT学術賞表彰式

[企画]

- ・情報処理で社会を守る
 - ・KIISE会長の基調講演
 - ・データサイエンスで活躍する列挙アルゴリズムー設計法とその応用ー
 - ・医療現場における異文化間コラボレーション
 - ・エンターテインメント産業におけるモーションキャプチャ技術の将来展望
 - ・コンピュータ囲碁の最前線
 - ーコンピュータ囲碁対人間 公開対局とコンピュータ囲碁シンボジウム
 - ・第12回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
 - ・これでいいのか、ユビキタス
 - ー今後のユビキタスコンピューティングの研究を考えるー
 - ・ポリウムデータをめぐる「医」と「工」のインタラクション(仮)
 - ・情報爆発時代の自然言語処理の新展開
 - ー大規模ウェブリソースは対話を賢くするか?
 - ・EIPの10年
 - ・サイバーワールドとリアルワールドとの接点
 - ーロケーションサービスを中心として-
 - ・情報・システム研究開発の今昔ー若者の夢をどこまで膨らませるか-
- [開催校企画: 近未来技術と情報科学]
- ・情報科学教育の未来
 - ・コ・モビリティ社会の創生に向けて

■聴講参加費(税込)

参加区分	事前予約(7/14まで)	当日
会 員	7,500円	8,500円
非会員	15,000円	17,000円
学 生	無料	無料

※会員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・CD-ROMが含まれております。

※会員、非会員、学生の参加区分の別は以下の通りです。

会員: 情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEEK、KICS、KIISE、IEEE/Com. Soc.、IEEE/LEOS、IEEE/EDS、IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI)の個人会員に限ります。

非会員: 上記の学会会員以外の方。

学生: 会員/非会員を問わず無料(CD-ROMは付きません)。

社会人学生の方も、学生証を総受付で提示頂ければ無料です。

■懇親会

開催日時: 9月3日(水) 18:00を予定

会 場: 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス内食堂

懇親会参加費: 社会人 5,000円, 学生 2,000円

※すべて当日の受付(支払い)となります。

■冊子講演論文集・CD-ROM販売価格(税込)

※FIT2008ホームページに掲載致します。

■聴講参加事前予約・講演論文集・CD-ROMの申込み・送金方法

申込期限: 平成20年7月14日(月) 必着(電話予約は不可)

申込方法: FIT2008ホームページからお申込み下さい。

聴講参加事前予約者の方、講演論文集セットまたは分冊を申し込んで受取り方法を「会場で受取」にされた方には引換券をお送り致します。御来場の際は御持参頂き、総受付に御呈示下さい。

受取方法: 講演論文集セットまたは分冊を御希望の場合には「会場渡し」または「FIT終了後郵送(10月上旬)」のいずれかを選択して下さい。CD-ROM(セット付属のものは除く)は、すべて事前発送となります。

送金方法: 申込後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので送金をお願い致します。

送金は以下のいずれかの方法でお願い致します。

(1)郵便振替で送金の場合: 同封の郵便振替用紙を御利用頂くか郵便局備え付けの振替用紙に「口座番号00120-0-35300、加入者名 社団法人電子情報通信学会」を明記の上、通信欄に必ず「FIT2008、請求書番号、氏名」を明記の上お振込み下さい。

(2)銀行振込みで送金の場合: 振込人名を「FIT2008-請求書番号-氏名」として下記口座へお振込み下さい。

・三菱東京UFJ銀行 本店 普通預金 7657224

口座名義: 社団法人電子情報通信学会

※振込みが完了されましたら、同封の「送金連絡票」に振込み情報を御記入の上、以下の申込先へFAXにてお送り下さい。

※FIT会場でのお支払いは一切お受け致しませんので御了承下さい。すべて振込みでお願い致します。

送金期日: 平成20年10月31日(金)

■申込先・問合せ

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8機械振興会館内

社団法人 電子情報通信学会 集会事業部FIT担当

TEL. 03-3433-6691 FAX. 03-3433-6616

E-mail: ieicefit@ieice.org

■講演論文集の内容(分野)

第1分冊: モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊: データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第3分冊: 画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊: ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム

・CD-ROM: 上記全論文とプログラムを収録

(著者、所属、キーワードによる索引付き)

※FIT 査読付き採択論文が採録されていた「情報科学技術レターズ」の発行は終了しました。採択論文につきましては各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されますのでよろしくお願い致します。

■その他

手話通訳などの情報保障を御希望の場合には FIT2008 事務局まで御連絡下さい。

■次年度のFIT2009開催

平成21年9月 東北工業大学にて開催予定

2008年1月29日に開催された情報処理学会主催のソフトウェアジャパン2008では日本発の優れたプログラマに与える「Software Japan Award」を東北大学の化学者保木邦仁氏が受賞されました。保木氏は将棋プログラム Bonanza (2007年3月の大和証券杯特別対局で渡辺竜王をあと一歩まで追いつめた)の開発にあたり、最大(小)化問題として力学系の制御方針を推論する最適制御理論 $J = \int l(x, u, t) dt$ により将棋を数値モデルとして表現いたしました。ベーシックソフトウェア開発では掛算割算などまったくなく、足算と引算ばかりの世界なので数式とはすっかりご無沙汰ですが、保木氏は趣味の数学と英語とプログラミングを駆使して外国の chess の文献 100 本以上を読破し Bonanza を開発しました。文献に数式が出てくると「これでやっとプログラム化できる」と感じるそうで、並みのプログラマではありません。

図の局面は Bonanza が▲6六角と打ったところです。渡辺明竜王は blog で「51 手目▲6六角は見たことがない類の手ですがなかなかの手。僕らでは浮かばない手で、コンピュータが将棋の技術向上に一役買ったと言えると思います。今後も、このような斬新な手を見せてくれるのでしょうか。それによって新手法、新筋が増えていく可能性もあるのではないのでしょうか」と書かれています。その心は「(数手先の局面も含めて)駒を取るとか逃げるとかの明確な目的を持たない手です。目的がない手は人間には指せません」と羽生二冠は講演会「コンピュータは羽生二冠を超えられるか」で解説してくださいました。この手の Bonanza の読み筋を保木氏に調査していただいたところ、▲6六角以外の手は不利になるようでした。

- +28点 ▲6六角 △8六歩 ▲同歩 △同飛 ▲6四歩
- 26点 ▲5六歩 △8六歩 ▲7一角 △7二飛 ▲5三角成
- 44点 ▲4四歩 △同歩 ▲5六歩 △8六歩 ▲7一角
- 45点 ▲6四歩 △同歩 ▲6六角 △8六歩 ▲同歩

Bonanza が切り拓いた「目的の感じられない手」は各種の評

価関数によって自動的に導き出されているのですが、その一つに駒と駒の距離を静的評価関数で計算する方法があります。たとえば持ち駒の金をすべての場所に配置してみてもどの場所の点数が一番高くなるかを求めるものです。ここには計算機パワーが強くなった今日では「力任せの探索は簡単・高性能!」という保木氏の論理がそのまま表されています。理論的上限としての読みの手数を「1秒に50万局面探索、1秒で18手先まで読める」と保木氏は言い、2005年優勝プログラム激指の作者鶴岡氏は「現在の激指は、深いところでも20手先位までしか読むことができません。『読み』でそこまで到達するには少なくとも30手先位までは読めていなくては行けないので、探索をさらに1,000倍高速化する必要があるようです。逆に言えばそれだけ速ければそこまで読んで指せるというのはちょっと恐ろしい気もします」と語ります。トッププロの渡辺竜王や谷川九段は深さで20~30手/分、手数で1,000~2,000手/時ほど読むとのことですが、コンピュータ将棋プログラムがトッププロに勝つには30手を超える読みを計算機パワーで獲得し、「目的の感じられない手」などの相手の考えていない手を見つけ出すことが必要ではないかと思うのであります。

翻って企業の製品開発を考えると、競合他社が成功しているからというだけで、柳の下の泥鰌を狙って類似製品を出すことが多いのですが、明確な事業戦略とそれに合致した「目的を持った製品戦略」を作っていくことで成功する確率を高めるといのが正しいプロセスです。それでも失敗した場合にはこの目的に問題があったと考え直すこととなります。こうした組織が自己変革可能な組織であり現代マーケティングの目指すところであります。

保木氏の講演内容は <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2008/cfpar.html> で参照できます。

(湖東俊彦/事務局長)



図-1

王が8八にいる時の味方の金・と

-67	-60	-45	-27	-30	-51	-61	-73	-67
-57	-59	-28	-4	6	-13	-48	-82	-62
-18	-26	-26	0	14	-5	-27	-51	-40
-57	-35	-20	3	-7	-8	-15	-49	-64
-55	-36	-13	-18	-13	-23	-17	-35	-77
-57	-16	-5	-8	-12	-25	-37	-54	-68
-34	-3	13	19	-25	-39	-55	-73	-92
-97	K	30	-16	-6	-51	-36	-85	-150
-40	34	-49	23	-40	-17	-109	-123	-118

王が9九にいる時の味方の金・と

-69	-45	-17	8	-13	-38	-70	-79	-75
-21	-55	11	29	22	-12	-55	-80	-75
-12	-29	-8	28	37	0	-36	-56	-65
14	-35	-7	33	9	-5	-33	-56	-83
-81	-49	-9	-11	-14	-25	-39	-56	-101
-59	-25	2	-28	-37	-57	-63	-56	-72
14	36	17	-19	-49	-74	-80	-108	-75
45	27	18	1	-32	-91	-123	-127	-138
K	40	31	0	-14	-56	-139	-133	-116

王が8八にいる時の敵の金・と

-106	-25	-5	2	-42	-11	-20	-41	-67
-53	-7	10	-4	5	-3	8	-18	-72
-62	-26	-18	9	-21	4	-11	-28	-85
-50	-14	9	-9	-9	-20	-13	-28	-86
-12	24	25	4	-20	-27	-30	-47	-63
110	186	144	49	2	-29	-28	-36	-40
450	450	450	149	27	-12	-22	-25	-34
450	K	450	156	15	-24	-40	-31	-44
112	450	212	63	-19	-52	-69	-59	-72

王が9九にいる時の敵の金・と

-52	-8	15	7	-47	-34	-32	-57	-177
-54	14	30	5	-2	-16	6	-49	-98
-80	-11	-1	12	-17	-1	-22	-31	-79
-58	-9	-8	-10	-25	-30	-28	-40	-130
-26	-7	-6	-8	-32	-46	-42	-85	-182
128	120	35	-15	-7	-57	-56	-62	-116
320	271	206	65	11	-18	-45	-36	-68
318	444	214	106	14	-31	-47	-55	-77
K	448	207	51	-8	-61	-91	-99	-96

図-2

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
 * なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

最近不思議に思うことがある。感知されない女になっているのだ。セキュリティ技術が発達しパソコンの指紋認証も当たり前な世の中だが、その認証をするのに10回も指をこすりつけてはならなかった。普通は指が短いとか、変な指紋ですとか何らかの理由を示してくれるのだが、うんともすんともいわないところから考えると、指をこすりつけていることすらパソコンは認識していないのではないかと自分の存在が不安になった。

そういえば、自動ドアの前に立っても自動ドアが開かないことが何回もあった。センサが反応しなかったのだろうと、自動ドアの前をうろちょろ歩いてみたがまったく開かない……自分の存在に関して焦りがつのる。トイレに入ったときも、自動的にセンサが感知しトイレの明かりがつく仕組みのところで明かりがつかず、暗いままで用を足したこともあった。逆に、入っ

ているにもかかわらず感知されなかったのか電気が消えてしまったこともあった。エレベータにはものすごい勢いで挟まれ、身の危険を感じた。

なんだろう、これは、私が知らず知らずのうちにセンサーの死角を選んでいるのだろうか。本能的に世間から隠れたいという思い（注：そんな思いはまったくありません）が行動に表れてしまっているのだろうか。本当は自分の魂はこの世にないのかもしれないと普段はまったく考えないことが頭をよぎる。

先日、自動改札で止められた。駅員さんに確認してもらったところ入場記録がありませんと言われた。妄想が広がる。機械が人を選び始めたのではないかと、とるに足らない人間には反応しなくなる実験を始めたのではないかと……。

(松澤紗織/規格部門)

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!!

そうだ、情報処理学会に入る!!



申込/照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSIメールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください!

【7月10日頃までにお出しください】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4906.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか? : (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2008年6月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

特集：多言語自動通訳技術の実現に向けて

1. 音声自動通訳技術の進展 10-1-
2. ここまできた音声通訳技術 10-2-
3. 携帯端末用多言語自動通訳システムの実用化に向けて 10-3-
4. 同時通訳の工学と科学 10-4-
5. 非制限話し言葉通訳に関する最近の技術進展 10-5-
6. ユニバーサルコミュニケーションのための音声通訳 10-6-
- ユビキタスコンピューティングの足跡と展望 10-7-
- 第1回 UEC 杯コンピュータ囲碁大会報告 10-8-
- プログラミング・コンテスト EPOCH 報告 10-9-
- インターネット環境におけるアクセシビリティ 10-10-
- 特集：研究会推薦博士論文速報 10-11-
- 部分空間法の今昔 (下) 最近の技術動向：相互部分空間法への拡張とその応用事例 10-12-
- モンテカルロ木探索 10-13-
- 研究会千夜一夜：教育のための情報基盤の構築を目指して 10-14-
- 研究会千夜一夜：ネットワーク生態学 (NE) 研究グループ 10-15-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

本特集が発行されるころ、梅雨入りの季節かと思えます。特集記事がすべて集まって目を通したのは、今年の春、「春の岬旅のをはりの鷗どり 浮きつつ遠くなりけるかも」(三好達治)という歌が似合う季節でした。この歌は、春霞にかすむ岬や穏やかな波間に浮いて遠ざかる鷗鳥の様子を歌ったものですが、作者がどこから眺めているかによって思い浮かぶ情景が大きく異なります。たとえば、作者の場所を、砂浜、丘、船上と移していくと、さまざまな景観が目に見えこの歌を何度も楽しむことができます(実際は連絡船上から詠んだ歌のようです)。本特集は、最新技術解説として興味深いだけでなく、この歌のような趣があると感じます。自動通訳という同じ目標

に向けて、産官学の執筆者がそれぞれの視点から将来の夢を語り、その多様な広がりを楽しむこともできます。一方、海外からの記事では、夢の実現に向けた熱意に洋の東西の違いはないと感じました。この記事は、小職が原文の英語を日本語に翻訳したのですが、あらためて翻訳の難しさと翻訳技術の必要性を実感しました。訳責はすべて小職にあり読み苦しい点にご容赦いただけると幸いです。最後になりましたが、執筆者の皆様には、お忙しい中執筆をご快諾いただき、細部にわたる修正や加筆など誠に有難うございました。多大なるご尽力をいただいた執筆者、事務局、エディタの皆様には厚く御礼申し上げます。

(奥村明俊/本特集ゲストエディタ)

次号(7月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」情報専門学科カリキュラム標準「J07」

情報専門学科カリキュラム標準「J07」について/コンピュータ科学領域(CS)/情報システム領域(IS)/ソフトウェアエンジニアリング領域(SE)/コンピュータエンジニアリング領域(CE)/インフォメーションテクノロジー領域(IT)/一般情報教育(GE)

「小特集」ソフトウェア工学温故知新

ソフトウェア工学の40年/アウトサイドイン指向ソフトウェア工学に向けて/日本のソフトウェア工学の今と未来

解 説

DFKIの舞台裏:サクセス・ストーリーと登場人物“Deutsches Forschungszentrum für Künstliche Intelligenz”の20年
 Andreas Dengel 他
 実装攻撃に対抗する耐タンパー技術の動向..... 松本 勉 他

報 告

平成19年度論文賞の受賞論文紹介 坂井修一 他
 平成19年度長尾真記念特別賞紹介 中島秀之 他
 平成19年度喜安記念業績賞受賞者紹介 土井美和子 他
 小中学生によるロボット競技世界大会レポート~FLL Open Asian Championship 2008~ 山下博之

連 載 計算の視点から音楽の構造を眺めてみると

コラム 研究会千夜一夜

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。権利委託先:(中法)学術著作権協会
 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
 E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619
 なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
 Copyright Clearance Center, Inc.
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
 Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
 6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
 E-mail: info@jaacc.jp
 Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
 Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 49巻6号 掲載広告（五十音順）

インタフェース…………… 表4 サイエンス社…………… 前付3
 オーム社…………… 表2対向

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____)		
TEL	(_____)	-	FAX (_____)
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社 NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア
(株) NTTコムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)



(株) インプレス IT



(株) うえじま企画

SONY

ソニー (株)

コトバウチュウ

(株) ニューズウォッチ

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

楽天

楽天 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375